

平成 30 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

12

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 無				
事務事業名	ICTを活用した健康づくりサービス					
予算科目	4 款	1 項	4 目			
予算事業名	生活習慣病対策費					
総合計画での位置づけ	健康管理・意識を高める					
担当課	健康福祉課	担当課長	國岸 和幸			
事業担当者	持松 可奈子	一次評価者	稲永 みき			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	健康増進法					
事業の対象	住民					
実施期間	開始年度	平成 29 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	住民の健康増進を図る目的で、健康管理アプリ「ケンコム」を導入し、住民の利用促進を図る。 また、保健指導による疾病予防および重症化予防を図る目的で、保健指導ツール「ひさやま元気予報」を用いた保健指導を実施する。					
目的達成の指標	40代、50代の健診受診者のうち、スマートフォン保有者のケンコム利用の同意取得率					
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32年度
	目標	件	—	60	80	80
実績	件	—	66.5			
指標設定の考え方	町の健診事業の参加が比較的少ない40代、50代の住民に、健診や健康づくりに関心を持ってもらうため、健康管理アプリの登録を進める。					
事業遂行時懸案事項等	<ul style="list-style-type: none"> ケンコムのデータ連携を安全に行うため、関係機関とシステムの構築を進める。 また、ケンコムの利用促進を図るための周知および登録支援を行う。 ひさやま元気予報を用いた保健指導については、適切な指導を行うため、保健師等の研修を行う。 					
事業実施時懸案事項対応等	<ul style="list-style-type: none"> ケンコムの利用促進を図るため、生活習慣病予防健診の会場で受診者全員に個別説明および希望する方へ登録支援を実施した。また、住民の集まるイベントや各種事業の会場でアプリの紹介を行った。 ひさやま元気予報は住民へ事前周知を行うとともに、健診当日に対象者へ保健指導を実施した。 					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 973 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算	
事務量	① 人工数	0.17	0.23	0.23	0.23
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196	7,196
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,254	1,690	1,655	1,655
事業費	直接事業費	0	7,032	600	600
	人件費	1,254	1,690	1,655	1,655
	合計	1,254	8,722	2,255	2,255
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,254	8,722	2,255	2,255
	合計	1,254	8,722	2,255	2,255

事業費計画

(千円)

区分/年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目 標	0	7,032	600	600	600
実 績	0	6,834			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
導入に向けた協議の件数	件	14	20	20	
		14	46		
周知活動の件数(集団)	件	1	13	10	10
		1	15		
周知活動の件数(個別)	件	0	2,700	2,800	2,800
		0	3,818		
ひさやま元気予報による保健指導件数	件		200	200	200
			209		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 947 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目	29 年度決算	30 年度予算	30 年度決算	
事務量	① 人工数	0.17	0.23	0.23
	② 人件費単価	7,129	7,350	7,187
	③ 補助事業人件費		0	0
	人件費(①×②-③)	1,211	1,690	1,653
事業費	直接事業費	0	7,032	6,834
	人件費	1,211	1,690	1,653
	合計	1,211	8,722	8,487
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,211	8,722	8,487
	合計	1,211	8,722	8,487

実施備忘録

CHECK(評価)

自己評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		A
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

・ケンコムは、住民の健康保持増進を推進するため、日常の健康づくりを楽しく継続できるツールとして有効である。
 また、町の健康づくりに関する魅力発信としても効果的である。
 本事業の利用促進を図るために、周知や登録の支援を充実させる必要がある。
 ・ひさやま元気予報については、現在の町の健康課題である糖尿病について、より具体的な保健指導を行うにあたり、有効な保健指導ツールである。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

・40代、50代の健診受診者のうちスマートフォン保有者のケンコム利用の同意取得率については、当初の目的の60%を超えることができたが、利用促進を図り、80%を目標としたい。
 また、ケンコムの特徴的な機能である健診結果を閲覧するために必要な閲覧コードの入力にあたっては、登録者の31.8%にとどまっており、その対応として、登録支援を充実させたい。
 ・ひさやま元気予報については、H30は糖尿病予防対策として、健診当日の結果から糖尿病の境界型の方を対象に実施した。より効果的な保健指導を行うため、その効果について次年度以降の健診結果で評価を行う。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	稲永 みき
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		A
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

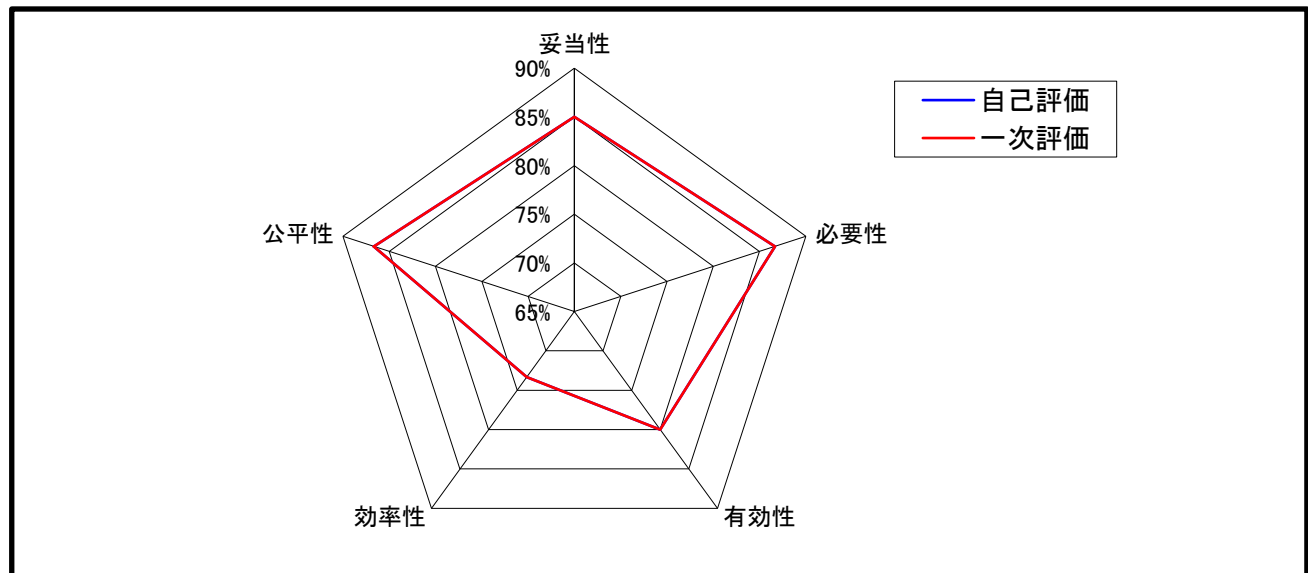


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

セルフケアに重点を置いた新規の健康づくり事業の取り組みとして、システムの導入から周知活動および登録支援等、事業の普及促進を図った。今年度の目標は達成されたが、今後は利用促進に関する内容を具体化するとともに、住民へのPRを強化し、有効な事業となるよう推進していく必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	國寄 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

利用促進につながる努力を継続していく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり直し、
 月 日
 までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会で評価する。

 月 日
 開催予定

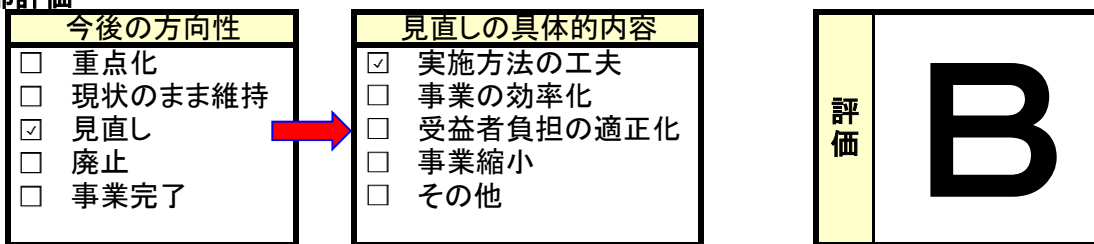
- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	「ケンコム」利用者の利用状況および満足度等をヒアリングを通して把握し、利用促進の方法を検討する。
内容	① 「ケンコム」運営企業から利用状況のレポートを受理しているが、機能上の問題で性別、年代別の把握が難しい。そのため令和元年は健診会場で利用状況等のヒアリングを行った。今後は「ケンコム」の利用状況に加え健診新規受診のきっかけについても把握し、健診受診勧奨の方法を検討する。 ② 利用促進を図るためイベントを行うとともに、広報、町内行事での周知、健康課が送付する封筒に町ホームページの「ケンコム」登録紹介ページへつながるQRコードを掲載するなど継続して周知活動を行う。

外部評価



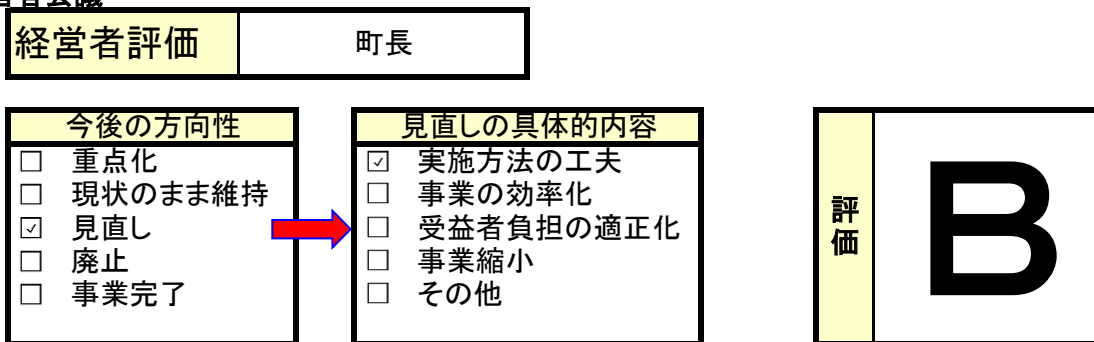
外部評価委員の意見

本事業は、町民、特に40代、50代に対する生活習慣病対策という重要な施策であり推進すべき事業と考える。ICTを活用した先進的な取り組みではあるが、「ケンコム」の機能について、健康維持のための情報の提供等もっと町民の要望を反映させるなど機能充実に努めていただきたい。

ただし、アプリの利用状況を見るとさらなる利用者の拡大をいかに図るか、また周知活動をどう行っていくか検討が必要と思われる。

また、町がアプリの具体的な利用状況について把握できていないのは問題と思われる。利用件数だけでなく利用人数、利用状況、満足度等把握し活用することが大事と思われる。

経営者会議



経営者会議の評価

【課題】
 健診の受診率を上げ、町民のセルフケアにつなげるために、実施した事業ではあるが、その利用データの把握や活用がうまくできていない状況。

【改善策】

- ① ターゲットとしている40代、50代が「ケンコム」を認知し、新規受診につながっているか等のデータ把握を実施する。
- ② 健診対象者以外の若い世代にも興味を持ってもらえるよう有効なPR手法について検討する。